

【修学支援について】

両学科とも、学習の動機づけに焦点を合わせた学習の方法や授業科目の選択のためのガイダンスを、2年生には新学期初めに1日、1年生については入学式後に実施する2日間のオリエンテーションの中で行っている。さらに、クラス担任制を設け、クラスアワーで指導・支援するとともに、専任教員は、週に1度、オフィスアワーを設け、修学支援の場を提供している。学生便覧、学習の手引（シラバス）を作成し、4月のガイダンス時に学生に配付して、教職員にも周知している。また、「こころとからだの相談室」において、学習上の悩みなどの相談にのり、適切な指導・助言を行っている。さらに、8月から9月にかけて、担任と保護者が個人別に面談を行う保護者教育懇談会を実施しており、問題点や課題の共有化をはかり、適切な支援へつなげている。

音楽科では、各専攻コース別に入学手続き者の基礎学力を補い、学習意欲を促すための入学事前学習として、楽典とソルフェージュの課題を出している。入学後は、音楽の基礎であるソルフェージュにおいて、習熟度別に3クラス編成（基礎学力が不足するクラス、通常進度のクラス、優秀なクラス）を行い、きめ細かな指導をしている。

人間福祉学科は、入学手続き者の基礎学力を補い、学習意欲を促すための入学事前学習として、読書感想文と一般教養についての課題を課し、教員がそれに対してコメントを入れたうえで入学後に学生に返却している。また、人間福祉学科社会福祉専攻では「文献を読む・まとめる・発表する」こともめざした「社会福祉演習Ⅰ」を開設している。介護福祉専攻では「介護福祉特別演習」を開設し、介護福祉士資格取得に向け、学力向上を図っている。また、実習のまとめとして、社会福祉専攻では「相談援助実習集録」、介護福祉専攻では「事例研究集録」を作成している。そのために、授業外でも個別の指導・支援を行っている。さらに介護福祉専攻では、介護福祉士資格取得のための「全国一斉卒業時共通試験」の合格に向けて、2年次の前期から本試験受験前まで、別途模擬試験を9回実施し、学力の不足している学生に対して学習支援を行っている。

他方、優秀な学生に対しては、平成26年度にダイヤモンド奨学金制度を創設し、支援を行っている。ダイヤモンド奨学金は、1年次で優秀な成績をあげた学生に対して2

年次の授業料を全額または半額免除にする制度である。また、音楽科では特に優秀な学生に対しては、学内外の演奏会に積極的に出演させて経験を積ませ、学習成果の一層の向上を促している。

さらに、4年制大学への3年次編入や留学支援も行っている。平成28年度、音楽科では、音楽大学3年次編入合格者が3人いる。

一方、平成26年度から、ボランティア活動や論文優秀者など、功績のあった学生に対して学科長表彰制度を設け、学位授与式後に開催されるクラスアワーで表彰を行っている。

平成28年度のダイヤモンド奨学生と学科長表彰者は、次の通りである。

平成28年度	ダイヤモンド奨学生	授業料半額免除 音楽科 2人 授業料半額免除 人間福祉学科 3人
	学科長表彰	音楽科 4人 人間福祉学科 2人

本学では、音楽・福祉に関する日頃の学習成果をさらに高め、幅広い視野と見識を深めることを目的として、音楽科・人間福祉学科が交互に海外研修旅行を実施している。

平成27年度は音楽科が担当した。引き続き世情不安もあって、海外研修を見合わせ、国内の楽器製造の実情を学ぶことを目的として、浜松方面へ1泊2日の研修旅行を実施した。

平成28年度は人間福祉学科が台湾旅行（平成29年2月に3泊4日）を企画し、保護者への案内を含め、ポスターや説明会による募集を行ったが、海外での様々な事件・事故による世情不安で参加希望者が少なく、中止になった。